

## 飯山敏道教授フランス国家功労勲章受章

久 城 育 夫 (地質学教室)

理学部地質学教室の飯山敏道教授（現評議員）は去る10月、フランス政府より国家功労勲章（Chevalier d'Ordre National de Mérite）を受章された。飯山教授は昭和51年フランスより理学部教授として帰国されて以来、理学部における教育および研究に従事される傍ら、日仏間の科学者の交流および共同研究等に多大の努力を払って来られた。この数年間は特に、日仏地球科学者による日本海溝の調査・研究（KAIKO計画）の推進に中心的役割りを果されている。また、日本のみならずフラフランスの若い研究者の養成にも盡され

ている。フランス政府は飯山教授のこれらの功績を高く評価し、今回の受章となった。理学部一同、飯山教授に心からお祝いを申し上げますとともに、今後の御活躍をお祈りする次第である。

KAIKO計画では日本海溝の成因およびプレートの沈み込みの機構等に関して大きな成果をあげている（理学部広報17巻，2号参照）。なお、この計画の日本側の推進者の一人である、元海洋研究所の奈須紀幸教授（現放送大学教授）も飯山教授と同時にフランス国家功労勲章を受章されている。